2024 年度入社式　社長訓示

【樋口社長】

１．はじめに

２．東北電力グループについて

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

＜失敗を恐れずに　挑戦してほしい＞

＜地域から信頼される社員になってほしい＞

４．むすび

2024 年 4 月 1 日（月）13：00～

本店大会議室

１．はじめに

皆さん，この度は，入社，誠におめでとうございます。

新たな一歩を踏み出し，不安や戸惑いを感じているかもしれませんが，社員一同，皆さんの入社を心から歓迎しています。

私からは，当社グループの現状に触れながら，皆さんに期待することについてお話しします。

２．東北電力グループについて

はじめに，東北電力グループについてお話しします。

東北電力は１９５１年に誕生し，「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という考えのもと，社会生活に欠かせない電気を安定的かつ経済的に作り，送り，届けてきました。それは，東北電力グループの使命として，今も私たちに引き継がれています。

皆さんは，東北電力・東北電力ネットワークに配属になるわけですが，東北電力グループの経営理念である「地域社会との共栄」，そして，グループスローガンである「より、そう、ちから。」のもと，二つの会社が力を合わせ，引き続きこの使命を果たしていかなければなりません。

一方で，私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。至近数年間を振り返ると，２０２１年，２０２２年と２度にわたる福島県沖地震による火力発電所の長期停止，ウクライナ危機による燃料費の急激な高騰など，当社の経営基盤を揺るがす事象が発生しました。また今後も，他事業者との競争激化，デジタル化の進展，カーボンニュートラルの潮流加速など，事業環境は大きく変化していくことが想定されます。

そのような中で，当社グループは，被災した設備の早期復旧，世界最高水準の熱効率を達成した上越火力発電所の稼働，電気料金の見直し対応など，一丸となった取組みにより，危機を乗り越えてきました。

今後は中長期ビジョン「よりそうｎｅｘｔ」の実現に向けた取組みを加速していくことによって，財務基盤のＶ字回復を目指すステージとなります。電力供給事業をコアとしつつ，その強みを活かして，新規事業や新たなサービスの拡大に挑戦し，地域に住む方々が，より快適・安全・安心に暮らすことができる「東北・新潟発の新たな時代のスマート社会」の実現を目指していきます。

そして，今年度は当社の最重要課題である「女川原子力発電所２号機の再稼働」を予定しています。

女川原子力は，ＢＷＲ，つまり沸騰水型原子炉であり，東日本大震災以降，運転を再開したＢＷＲはまだありません。

震災の被害を受けたＢＷＲの再稼働という歴史に残る一大プロジェクトの完遂に向けて，原子力部門だけでなく，グループ全体で，お客さまや地域社会の理解活動など，再稼働に向けて取り組んでいく必要があります。

３．新入社員の皆さんに伝えたいこと

こうした変革期にある東北電力グループの仲間となった皆さんへ伝えたいことを２点お話しします。

１点目は，「失敗を恐れずに 挑戦してほしい」ということです。

これからも東北電力グループが地域とともに発展していくためには，電力の安定供給という使命をしっかりと果たしながら，スピード感を持って，お客さまのニーズに沿った様々なサービスや新たな価値を創り上げていかなければなりません。

そのためには，新たな発想で，挑戦し続けることが必要です。皆さんにとっては，仕事を通して見るもの，聞くもの，すべてが初めてのことになりますが，仕事を進めていく中で，疑問に感じたこと，もっとこうすれば良くなると気づいたことは，ぜひ，臆さずに職場の上司や先輩に話してください。

前例にとらわれず，皆さんの新しい視点や感覚で，アイディアをどんどん出して頂き，新たなビジネスの創出につなげて頂くことを期待しています。

挑戦には失敗が伴いますが，「失敗は成功のもと」と言います。成功は，挑戦と失敗の中から，解決に向けて試行錯誤した先にこそあります。失敗を恐れて挑戦しない，何もしなければ，新たな成長はありません。

そして，仕事をしていく中で，様々な課題にぶつかると思います。その時には，できない理由を考えるのではなく，『どうしたらできるか？』という前向きな視点で考えてください。そのことによって解決の糸口が見いだされ，成果が生まれるはずです。

２点目は，「地域・社会から信頼される社員になってほしい」ということです。

東北電力グループは，長年この地に根を張り，地域とともに歩んできました。

これからも地域とともに発展していくためには，地域の皆さまから信頼いただき，「困ったときに相談され，頼りにされる存在」であり続けることが必要となります。そして，「頼りにされる存在」になるためには，地域・社会の方々と丁寧かつ真摯なコミュニケーションを重ねることが重要です。

コミュニケーションのポイントとして，相手に「伝える」ではなく「伝わる」ことを意識してほしいと思います。

「伝える」は，単に内容を説明しただけ，表示しただけの，一方通行の情報伝達になってしまいます。

皆さんには，ぜひ，「伝わる」ことを意識していただきたいと思います。相手を思いやり，業界用語を使わず簡単な言葉で話す，分かりやすい表現で例えなどを交えながら説明する，など工夫することにより，双方向の情報伝達となり，一層理解を深めていただくことにつながります。

このような行動の積み重ねにより，社員一人一人が「頼りにされる存在」となり，ひいては東北電力グループ全体への厚い信頼につながります。

４．むすび

最後になりますが，あの未曾有の悲劇をもたらした東日本大震災から１３年が経過しました。震災後も異常気象による災害や，２年連続で発生した福島県沖地震もありましたが，この間（かん），社員一人ひとりが毎日地道に努力を積み重ね，地域の復旧・復興と，電力設備のインフラを支えてきました。

そして今，変革期にある東北電力グループを選んだ皆さんだからこそ，新たな発想力やチャレンジ精神で，東北電力グループの成長をけん引してくれるものと期待しています。

東北電力および東北電力ネットワークでは，社員全員が心掛ける目標として，毎年，モットーを掲げており，２０２４年は，

「さらなる成長へ 変える・創る・挑む」

としております。これには，

①事業環境の変化に対応して，自分たちの意識，事業のあり様（よう）も変える，

②時代に合わせて新たなものを創り出す，

③成長のためにこれからも挑戦し続ける，

という思いをこめています。この視点を常にもって，無限大の可能性に挑戦していきましょう。

あらためて入社おめでとうございます。力をあわせて共に頑張りましょう。皆さんの活躍に大いに期待しております。

以　上